

**財務 R4 機能アップ対応版 (Ver.22.10) のリリース**

財務 R4 の機能アップ対応版 Ver. 22. 10 のリリース予定についてご連絡いたします。  
なお、当内容は変更される可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

1. 発行プログラムと対象バージョン
2. リリース時期と提供方法
3. 機能アップ対応について
4. その他の機能改善
5. オンライン認証の改善
6. 障害対応について

## 1. 発行プログラムと対象バージョン

システム名	リリースバージョン	データ変換対象バージョン	データ互換対象プログラム	保守加入対象
IKX財務会計 R4 財務顧問 R4 Professional 財務顧問 R4 Basic 財務応援 R4 Premium (*1) 財務応援 R4 Lite+ (*1) 財務応援 R4 Lite (*1) 財務応援 R4 Lite for IKX (*1) Weplat 財務応援 R4 工事台帳  (*1) Weplat製品も対象です	22.10	20.1以降	20.20以降	21.1以降
IKX財務会計 原価管理オプション 財務顧問 原価管理オプション	G6	-	-	-

※Ver.22.10へのバージョンアップ後にライセンス認証が必要です。

本バージョンからライセンスの自動取得に対応した環境があります。詳細については、下記の「5.ライセンス認証の改善」を参照してください。

※原価管理オプション G6を同時リリースします。G6への更新後にG6のライセンス認証が必要です。

G6は、財務R4 Ver.22.10用の更新プログラムです。G5と機能の違いはありません。

※Eiボードは、Ver22.10以降がセットアップされている必要があります。(3/17公開)

※Ver.22.10で会社データ選択時にデータ変換処理が実行されます。

※Weplat 財務応援R4のCD版をご利用のお客様も、会計マイページからプログラムがダウンロードできます。

## 2. リリース時期と提供方法

### ■E i ボードダウンロードマネージャーの公開

### ■マイページのダウンロード公開

今回、ライセンス自動取得対応後の初めてのリリースになるため、認証が円滑に行われるようダウンロード公開日をIKX財務会計 R4/財務顧問R4シリーズと、財務応援 R4シリーズで分けさせていただきました。

システム名	リリースバージョン	ダウンロード公開日
IKX財務会計 R4 財務顧問 R4 Professional 財務顧問 R4 Basic	22.10	2022年3月22日（火）
IKX財務会計 原価管理オプション 財務顧問 原価管理オプション	G6	
財務応援 R4 Premium (*1) 財務応援 R4 Lite+ (*1) 財務応援 R4 Lite for IKX (*1) 財務応援 R4 Lite (*1) Weplat 財務応援 R4 工事台帳  ※1 Weplat製品も対象	22.10	2022年3月23日（水）

### ■出荷切替

### ■CD オプション契約ご加入のお客様向けの CD 送付

2022年4月11日（月）

### 3. 機能アップ対応について

#### 3-1. チェックリスト（画面表示）の期間指定の変更

チェックリスト（画面表示）の月度の範囲指定をマウス操作対応しました。

画面左上の表示範囲の指定方法の切替ボタン[単月指定]／[期間指定]を削除し、マウス操作（クリック、ドラッグ）で表示範囲を指定できます。

##### 【対象画面】

- ・チェックリスト（画面表示）合計表
- ・チェックリスト（画面表示）試算表

#### 3-2. 仕訳入力の「年入力/月入力」表示の変更

仕訳入力の「年入力/月入力」の切り替えボタンを2つ表示して、どちらを選択しているかわかりやすい表示に変更しました。

##### 【対象の入力画面】

- ・仕訳入力
- ・現金出納帳
- ・銀行帳
- ・帳簿選択入力（売掛金帳簿、買掛金帳簿、受取手形帳、支払手形帳、元帳）
- ・仕訳検索・仕訳変換
- ・手形台帳入力

【仕訳入力画面】

	~ Ver. 21.40		Ver. 22.10 ~
	ボタンが1つのため、どちらが選択されているかわかりづらい。		ボタンを年入力/月入力表示し、選択している方が緑色になります。
<b>【年入力の場合】</b>		➡	
<b>【月入力の場合】</b>		➡	

3-3. 振替伝票入力に伝票検索機能の追加

■振替伝票入力画面から伝票検索をして伝票チェックや修正ができる機能を追加しました。

ファンクション[F9]に「伝票検索」ボタンを追加しました。

▼振替伝票入力

▼伝票検索

※財務会計R4、財務応援 R4 Lite for IXKの検索画面

▼伝票検索後の画面

以下の自動仕訳は伝票検索の対象になりません。

- ・一括税抜仕訳
- ・自動完成振替仕訳
- ・自動未成振替仕訳※令和3年度（当年度）の入力画面のみ表示されます。（過年度分の入力画面には表示されません。）

■伝票検索で検索した伝票チェックリストを出力する機能を追加しました。

ファンクション[Ctrl]+[C]の[F8:伝票 L A4][F9:伝票 L A3]ボタンを追加しました。



▼伝票チェックリスト A4 \*1

伝票検索チェックリスト

005 サンプル株式会社22.10 決算期間:自 令和 4年 4月 1日 至 令和 5年 3月31日  
出力範囲: 令和 4年 4月 1日 ~ 令和 5年 4月30日

日付	伝票番号	伝票摘要	借方		貸方	
付-伝票 摘要			勘定科目/補助科目	金額/税込率	勘定科目/補助科目	金額/税込率
4. 4. 1	1		100現金	1,000	810商品売上高	1,000
4. 4. 1	2		100現金	1	810商品売上高	税込10
振 4. 4. 1	3		100現金	200	810商品売上高	200
-001						税込10
合 計				*****1,201		*****1,200

[F8:伝票 L A4]: 伝票チェックリスト A4 \*1  
[F9:伝票 L A3]: 伝票チェックリスト A3 \*2  
※伝票チェックリストA3は財務応援R4 Lite/Lite for IKXは出力対象外です。

▼伝票チェックリスト A3 \*2

対象システム: 財務応援R4 Lite/Lite for IKX 以外のシステム

伝票検索チェックリスト

005 サンプル株式会社22.10 決算期間:自 令和 4年 4月 1日 至 令和 5年 3月31日  
出力範囲: 令和 4年 4月 1日 ~ 令和 5年 4月30日

日付	伝票番号	伝票摘要	借方				貸方			
付-伝票 摘要	期日		勘定科目	補助科目	金額	税込率	勘定科目	補助科目	金額	税込率
			< 減価区分 >				< 減価区分 >			
4. 4. 1	1		100現金		1,000		810商品売上高		1,000	1.00
4. 4. 1	2		100現金		1		810商品売上高		1	1.00
振 4. 4. 1	3		100現金		200		810商品売上高		200	1.00
-001										1.00
合 計					*****1,201				*****1,200	

3-4. 総勘定元帳の年出力の選択を追加

総勘定元帳／帳簿印刷／部門元帳の年出力で、「和暦の元号」「西暦の4桁」出力に対応しました。

初期設定画面に「年出力：2桁のみ、元号あり／西暦4桁」の選択を追加しました。

※和暦／西暦の設定は、「会社基本情報変更」-「基本情報1(SF1)」の処理暦で変更できます。

▼総勘定元帳

業務メニュー 総勘定元帳

実行(F8) キャンセル(F9) アドイン設定(F10) フォント設定(F11) ヘルプ(F12)

条件設定(F2) 初期設定1(F3) 初期設定2(F4) **オートム(F5)**

位置形式の出力  する  しない

繰上りの出力  する  しない

位置繰上の出力  する  しない

税区分の出力  する  しない

期日・季形番号出力  する  しない

月替り替え  する  しない

異議納の出力  する  しない

月末残株元帳  消費税額内訳  消費税額後戻

**年出力  2桁のみ  元号あり/西暦4桁**

[年出力]を設定する「初期設定」タブは帳票ごとに異なります。  
総勘定元帳：初期設定2 (F4)  
帳簿印刷：初期設定 (F3)  
部門元帳：初期設定2 (F4)

【年出力】

- ・2桁のみ：従来通り、和暦/西暦の2桁の年を出力
- ・元号あり/西暦4桁：和暦の場合は元号を出力  
西暦の場合は4桁で出力

【例：令和4年/2022年の場合】

年出力 選択項目	会社基本情報の処理暦	
	和暦	西暦
2桁のみ	4年	22年
元号あり/西暦4桁	令和4年 *1	2022年 *2

▼元号あり/西暦4桁 和暦の場合 \*1

総勘定元帳

令和 4年 サンプル株式会社22.10 [ 100 ]

月日	伝票番号	摘要	相手科目名	借 次
----	------	----	-------	-----

▼元号あり/西暦4桁 西暦の場合 \*2

総勘定元帳

2022年 サンプル株式会社22.10 [ 100 ]

月日	伝票番号	摘要	相手科目名	借 次
----	------	----	-------	-----

### 3-5. 入力画面での[NumLock]操作

[NumLock]がOFFになっている場合に、仕訳入力や伝票入力画面でキーボードから数字を入力しようとすると、意図としない動作になることがあります。

[NumLock]がOFFのとき、メッセージ（赤字）を表示します。

#### 【メッセージが表示される画面】

- ・仕訳入力
- ・振替伝票入力
- ・入金伝票入力
- ・出金伝票入力
- ・現金出納帳
- ・帳簿選択入力（売掛金帳簿、買掛金帳簿、受取手形帳、支払手形帳、元帳）
- ・仕訳検索・仕訳変換
- ・手形台帳入力

意図としない動作（NumLockがOFFのとき）  
【例】日付を入力しようとすると  
[0]を押す → [Insert]：修正仕訳呼び出しの画面が表示される  
[1]を押す → [End]：付箋コピーの画面が表示される

▼テンキー

Num Lock	/	*	-
7 Home	8 ↑	9 PgUp	
4 ←	5	6 →	+
1 End	2 ↓	3 PgDn	Enter
0 Ins	.	Del	

▼[NumLock]OFFのとき、仕訳入力で日付欄で[0]を押した場合

このようなメッセージ表示された場合は、[NumLock]がOFFになっている可能性がありますので確認してください。

日付に[0]を押すと[Insert]の機能になり、修正仕訳呼び出しの画面が表示されてしまう。

### 3-6. 仕訳入力の「アンバランス」時の操作変更

■仕訳入力でバランスエラーが発生した時の確認画面で [Enter] キーを押して、誤って「確定」や「OK」してしまうケースがありました。

「確定」、「OK」を [Enter] キーから、ファンクションの[F10]キーへ変更しました。

## ▼仕訳入力画面

～ Ver. 21.40

「確定」「OK」=[Enter]キー

Ver. 22.10 ～

「確認」「OK」=[F10]キー

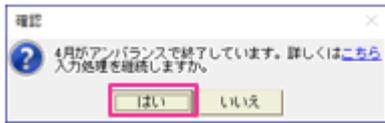
【仕訳入力時】



【仕訳訂正から移動する時】



- 仕訳入力画面でアンバランスの状態を終了するときに表示される「XX 月がアンバランスで終了しています。」の確認画面のボタンの初期値を「いいえ」から「はい」に変更しました。



※旧財務と同様の動作にします。

## 3-7. 仕訳変換での「消費税の変換」の改善

仕訳変換で科目や部門を変換すると、「消費税の変換をしない」を選択していても、日付に応じた税率に変換されていました。

条件設定の「科目、金額の変換」と「部門の変換」欄に、「消費税の変換」の項目を追加し変換方法を選択できるようにしました。

### ▼仕訳検索・仕訳変換

**【科目、金額の変換】**  
 ・科目初期値、科目別税率設定に従う：（従来とおりの動作）  
 科目別税率設定をしている科目の場合は、科目別税率設定に従い変換します。  
 科目別税率設定をしていない科目の場合は、科目マスターに設定されている消費税区分と日付に応じて変換します  
 ・変換しない：変換設定した科目や金額のみを変換し、消費税率は変更しません。

**【部門の変換】**  
 ・科目別税率設定に従う：（従来とおりの動作）  
 科目別税率設定をしている場合は、科目別税率設定に従い変換します。  
 ・変換しない：変換設定した部門のみを変換し、消費税率は変更しません。

※消費税の変換で「変換しない」を選択しても、不整合な状態になる場合は変換します。

不整合な例：日付と税率の組み合わせが正しくない（例：8%の期間（H31.10以前）に10%の仕訳をしている）

### 3-8. 仕訳データ取込の機能改善

仕訳データ取込の時の「外部仕訳転記エラーリスト」のエラー箇所を「？」で出力していましたが、エラー箇所がわかりやすい表記に修正しました。

また、「年補正」の選択方法を改善しました。

#### ▼外部仕訳転記エラーリスト

行	項目名	取込値	エラー内容
2	伝票日付	20210401	会計期間外のため取り込みできません。
3	借方補助科目	01	マスターに存在しないコードが設定されています。
4	貸方科目	000	マスターに存在しないコードが設定されています。
4	借方補助科目	00	マスターに存在しないコードが設定されています。

【外部仕訳転記エラーリスト】  
仕訳データ取込でエラーが発生した箇所を出力します。  
・行：エラーになっている仕訳の行番号  
・項目名：エラーになっている項目名  
・取込値：エラーになっている値  
・エラー内容：エラー内容の説明

#### ▼仕訳データ取込画面

【年補正】  
・そのまま取り込む：仕訳データの日付のまま取り込みます。  
・決算期間に合わせる：仕訳データの年が会計期間と違う場合は会計期間の年に合わせて取り込みます。

### 3-9. 仕訳データ取込 他社の仕訳データ取込概要のページを掲載

財務R4の「連動」→「仕訳データ取込」用のテンプレートファイル（ヘッダー有/Excel形式）と、他社システムの仕訳の取り込みについての概要をお役立ちToolsに掲載しました。

#### ▼「連動」タブ「他社システム連動」グループ

##### ●KX財務会計 R4、財務顧問 R4 Professionalの場合

他社システム連動	
21	社長・院長の四季連動データ作成
22	MAP連動・科目推移データ作成
23	MAP連動・部門推移データ作成
24	MAP連動・5年推移データ作成
25	他社仕訳取込手順のご案内

「他社仕訳取込手順のご案内」を追加しました。  
こちらを選択するとページが表示されます。

##### ●KX財務会計 R4、財務顧問 R4 Professional以外のシステムの場合

他社システム連動	
17	他社仕訳取込手順のご案内

※財務顧問 R4 Basicはメニュー番号「20」です

#### ▼仕訳データ取込画面

仕訳データ取込画面にも「取込フォーマットダウンロード」ボタンを追加しました。  
こちらのボタンからも上記と同じページが表示されます。

こちらからテンプレートをダウンロードできます。

### 3-10. 勘定科目コードの重複メッセージの変更

科目（補助科目）マスター設定、科目出力順設定の集約設定で科目の追加や訂正をするとき、科目コードが重複した場合のメッセージ表記を変更しました。

科目が重複している場合、既に登録されている科目コードと科目名称を表示します。

【重複メッセージ（科目あり）が表示される設定メニュー】

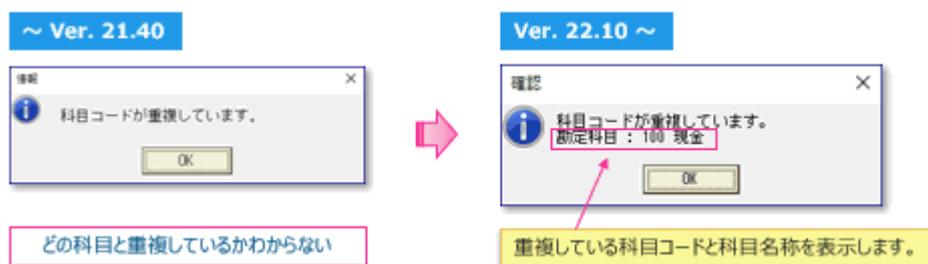
#### ■科目（補助科目）マスター設定

- ・勘定科目（明細科目・合計科目）

※補助科目の重複メッセージは変更ありません。（従来とおり）

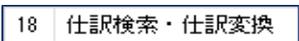
- ・詳細（明細科目・合計科目・備考科目）

#### ■科目出力順設定の集約設定



## 4. その他機能改善

その他の機能改善は以下のとおりです。

処理名	対応内容
仕訳検索	<p>業務メニュー名称「仕訳検索」を「仕訳検索・仕訳変換」に変更しました。</p> <p>【変更前】  →  【変更後】</p>
消費税還付申告	<p>「消費税還付申告に関する明細書」の輸出取引等に利用する主な金融機関の「口座番号」には半角数字のみ入力可能でしたが、全角半角の英数字とハイフン「-」の入力に対応しました。</p> <p><b>対象システム：</b> IKX財務会計／Professional／Basic／Premium／Lite+／Weplat 財務応援R4 工事台帳</p>
消費税の条件設定	<p>一般課税の場合、「消費税計算書」と「申告書・付表の印刷」の条件設定画面にある「控除対象仕入税額計算方法」の選択状態（個別対応方式 or 一括比例配分方式）を、「消費税計算書」と「申告書・付表の印刷」のそれぞれで保持するように変更しました。</p> <p>Ver.21.4までは、「消費税計算書」と「申告書・付表の印刷」での選択状態を共通にしていたため、最後に選択した状態が、「消費税計算書」と「申告書・付表の印刷」の両方に反映していました。</p> <p><b>対象システム：</b> IKX財務会計／Professional／Basic／Premium／Lite+／Weplat財務応援R4 工事台帳</p>
金融連携サービス	<p>金融連携サービスにより財務R4へ明細を取り込む際に、MoneyLook側に登録されている一部の口座がエラー状態のときは、エラー以外の口座も含め全ての口座の明細の取り込みを止めていました。</p> <p>本バージョン（Ver.22.10）では、MoneyLook側で口座エラーの状態になっていても、MoneyLookに取得されている明細は全て財務R4へ取り込むように修正しました。</p> <p>なお、財務R4の明細取得時のエラーメッセージは表示されます。</p> <p>（参考）MoneyLook口座エラーの例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・API連携で銀行口座を登録していてトークン失効によるエラー 「[0104]認証情報を更新してください」</li> </ul> <p><b>対象システム：</b> Weplat 自動仕訳サービス、または、Weplat財務応援R4による金融連携</p>

## 5. オンライン認証の改善

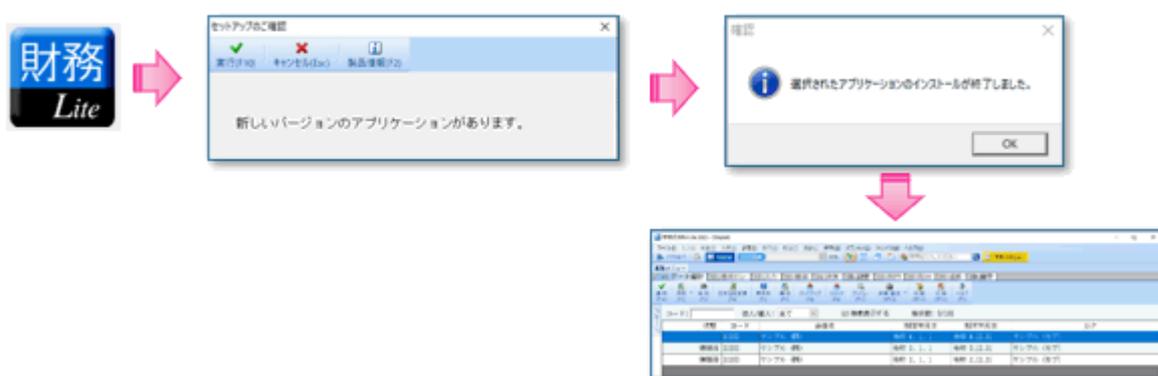
### ◆Weplat 財務応援 R4 のバージョンアップの場合

従来はオンライン認証を選択してライセンス取得の操作が必要でしたが、本バージョンから財務R4起動時に自動でライセンス取得するように対応しました。

#### <環境と条件>

- ・ スタンドアローン環境で、Weplat財務応援R4をバージョンアップした cases に限られます。
- ・ Weplat財務応援R4の利用期間が残っている cases に限られます。
- ・ E i ボードサーバー版環境、クライアント環境、スタンドアローンへ切り替えた環境では、自動取得されません。

#### 例) Weplat財務応援R4 Liteのバージョンアップの場合



ライセンスを自動取得するため、ライセンス取得画面が表示されずにWeplat財務応援R4が起動します。

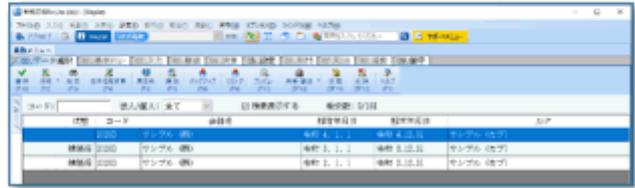
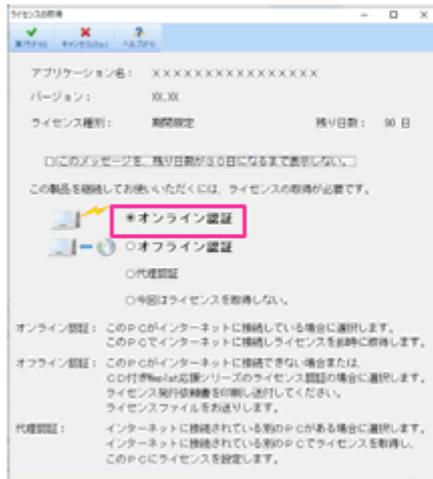
### ◆財務 R4 の通常版製品と、Weplat 財務応援 R4 の新規ライセンス取得の場合

財務R4起動後にライセンス取得画面が表示されますので「オンライン認証」を選択して [実行] をクリックするだけで、自動でライセンスが取得され財務R4が起動します。

#### <環境と条件>

- ・ スタンドアローン環境でかつ、財務R4の通常版製品、または、Weplat財務応援R4の新規ライセンス取得の場合に限られます。
- ・ ライセンス認証対象の製品を保有しているお客様番号が1つの場合に自動でライセンスが取得されます。

## 例) 新規ライセンス取得でお客様番号が1つの場合



新規のライセンス取得は、通常版とWeplat版共に、財務R4を起動後に「オンライン認証」を選択して [実行] をクリックすると、自動でライセンス取得され財務R4が起動します。

## 6. 障害対応について

Ver. 22.10での障害対応は、「財務R4\_Ver22.10障害対応一覧」をご確認ください。

以上、よろしくお願いいたします。